

令和 8 年 8 月定例会

予算決算委員会資料
(企画政策部)

デジタル業務改革推進事業について

1 事業目的

財政状況が厳しい中、限られた経営資源で質の高い行政サービスを持続的に提供していくため、国の「地域活性化起業人制度」を活用し、令和9年1月から民間専門人材を受け入れ、全庁的な業務最適化およびデジタル技術を活用した業務高度化を早期に進める。

【地域活性化起業人制度】

三大都市圏の民間企業等に在籍する社員を、一定期間自治体の職員として受け入れる制度で、民間企業の社員が持つ専門知識やノウハウを活かし、地域課題の解決を推進することを目的としている。

2 事業概要

- (1) 全課所室を対象に業務の現状把握（可視化）と分析を実施
- (2) 起業人とデジタル推進課等がチームとなり、各課の業務効率化を支援
- (3) 生成AIやRPAなどのツールを活用した効率化を提案
- (4) 職員自身が継続して業務最適化に取り組める体制を構築

3 事業費（負担金：3,050千円 ※国の特別交付税措置あり）

- ・派遣元企業に対し、1人当たり年額6,100千円を上限として負担金を支出
- ・給与等が上記の上限額を超える場合の超過分は、派遣元企業が負担
- ・派遣を受け入れる民間専門人材は2人で、令和8年度は、令和9年1月から3月まで3カ月分の経費を計上

令和8年度補正額：年6,100千円×3カ月÷12カ月×2人分＝3,050千円

4 スケジュール

令和8年10月～12月 協定締結、地域活性化起業人の受入れ準備
令和9年1月～ 地域活性化起業人着任
庁内業務の現状把握、業務分析を開始

若者応援プロジェクト推進事業について

1 事業目的

学生等を含む若者が「住みたい」「帰ってきたい」と思えるまちづくりの推進に向け、相談会や地元企業との交流会、若者の関心や共感を得られる情報発信等の取組を「若者応援プロジェクト」として展開し、行政や企業等が若者の希望と挑戦につながる「やってみよう」を後押しする。

2 事業概要

予算額 809 千円

(1) 若者のアイデアの具体化支援

513 千円

ア 若者を対象とした相談会

若者の「何かやってみよう」との思いを具体化する相談会を開催し、連携先となる担当課所室や地元企業、地域団体への橋渡し、資金確保に向けたサポート等を実施する。

(秋田駅周辺施設で6回開催するほか、随時、大学キャンパス等へ出張対応)

イ 市の取組・事業をテーマとした若者とのミーティング

学生や若手社会人が市職員と交流しながらアイデアを出し合うミーティングを開催し、市の新規取組の検討や既存事業の見直しに若者の意見を反映する。

(秋田駅周辺施設で随時開催(月1回程度))

(2) 学生と地元企業との交流会

80 千円

学生が地元企業のことを知り、ネットワークを広げるとともに、アイデア実現に向けたきっかけ作りの場として交流会を開催する。(文化創造館等で2回開催)

(3) プロジェクト推進会議

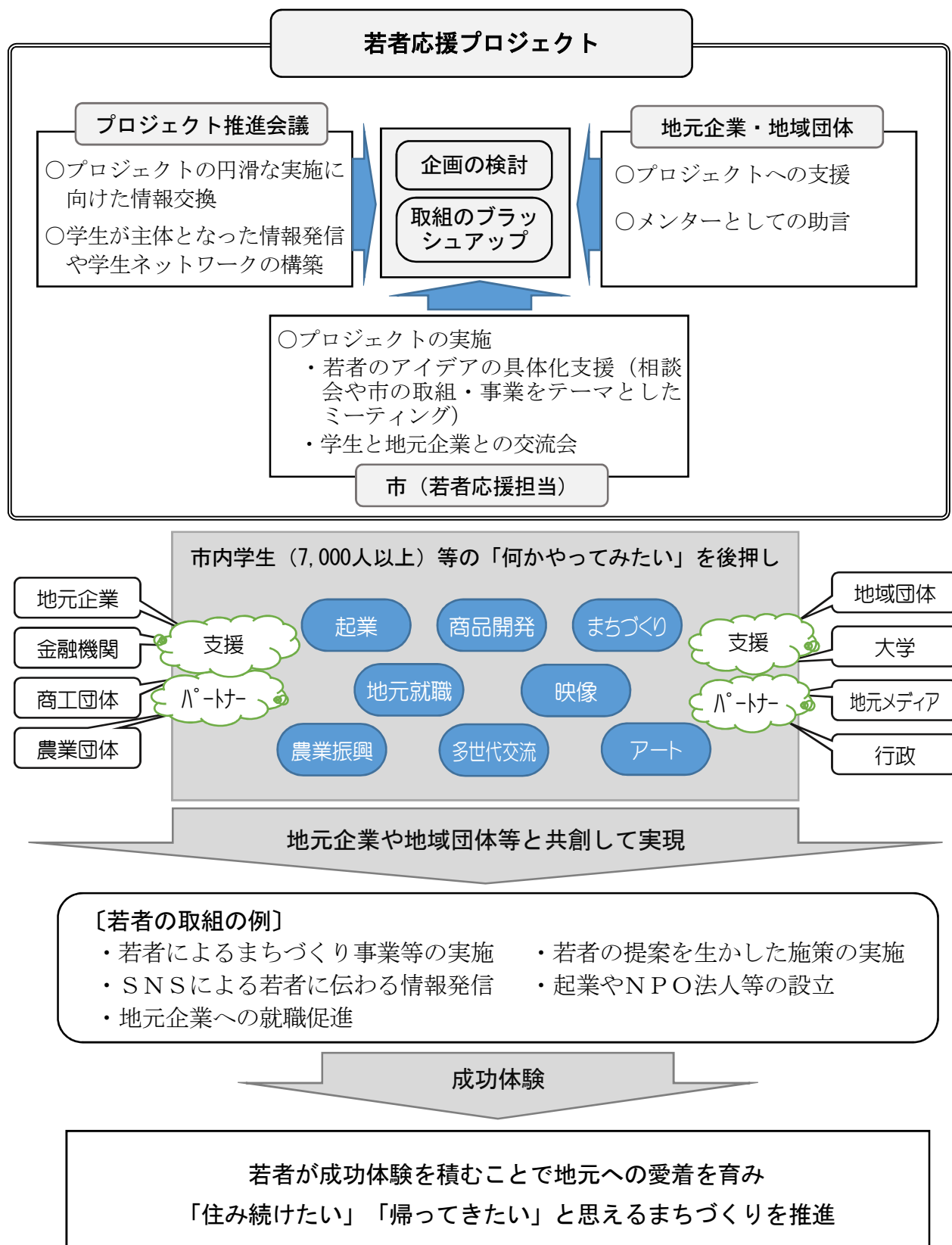
216 千円

市内大学等の学生の代表(9校×2人)をメンバーとした会議を立ち上げ、プロジェクトの円滑な実施に向けた意見交換を行うほか、学生が主体となってSNSによる情報発信や学生ネットワークの構築を進める。(秋田駅周辺施設で6回予定)

3 スケジュール

取組	R8.10	R8.11	R8.12	R9.1	R9.2	R9.3
若者を対象とした相談会	○	○	○	○	○	○
(出張対応)	← 随時 →					→
市の取組・事業をテーマとした若者とのミーティング	← 随時(月1回程度) →					→
学生と地元企業との交流会		○				○
プロジェクト推進会議	○	○	○	○	○	○
(SNSによる情報発信)	← 手法の検討・試行 →			← 随時発信 →		

4 推進イメージ



(仮称) 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画策定経費について

1 事業目的

令和8年1月に事業パートナーから示された提案を精査した結果を踏まえ、市としての考えを整理し、事業を推進していくため、令和7年4月に白紙撤回した「秋田市外旭川地区まちづくり基本計画」に代わる新たな計画を策定するものである。

2 事業概要

予算額 3,803千円

(1) (仮称) 外旭川地区まちづくり基本計画の策定に関する経費 803千円

事業パートナーとの調整や地域未来投資促進法の活用に伴う関係省庁との協議などを行うほか、計画策定に伴う資料や計画書本体を庁内で印刷するための事務的経費

(2) アドバイザリー業務に関する経費 3,000千円

計画策定に向けた助言や年度内に締結する事業パートナーとの協定内容などについて、金融・法務・技術等の専門的な観点による助言を受ける必要があるため、アドバイザリー業務を委託する。

3 事業費内訳 【予算額 3,803千円】

旅 費	610千円	事業者調整、関係省庁協議等
需用費	193千円	トナー代、庁内印刷等
委託料	3,000千円	アドバイザリー業務委託

4 スケジュール

時期	内容
令和8年10月	アドバイザリー業務委託契約
12月中旬	(仮称) 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画(素案)作成
下旬	パブリックコメント実施(～令和9年1月中旬)
令和9年2月	(仮称) 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画(案)作成
3月	(仮称) 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画策定